

平成28年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 貴志南小学校
作成日	平成29年3月3日

1 教育目標

21世紀に生きる生きる望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子どもの主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子どもの育成を目指す。 —たくましい子、やさしい子、考える子—

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の理解や協力が不可欠。 地域の年配の方を招き入れた地域全体で盛り上げる体制づくり。 育友会に対する理解が必要。 我が子やそのクラスだけを考えるのではなく、広い視野で全体を考慮するよう心掛けるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは子どもたちの生活習慣を充実させたい。 情報や物があふれる時代だからこそ、心の豊かさを失わないように。また、良し悪しの判断力を養わなくては。 様々な体験や出会いの機会が感受性豊かな子どもを育てると考える。 まずは大人の私たちから「豊かな心」「優しい心」をもつことから。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人が苦手な表現力の向上を。 学校の授業だけで十分な学力が付き、学習習慣がつく取組を。家庭と学校の連携も必要。 受け身でなく、「もっと知りたい」「もっと学びたい」とう子どもの主体性が重要。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 校外へ出での地域の方とのふれあいの学習が子どもたちには好評。 地域と子どもを結ぶ取組を学校は努力していると思う。 比べないとわからないが、かなり開かれた学校だと思う。 参観日は適度にあり、集会発表などの案内もきちんとなされ開かれた環境を感じる。 先生方が育友会・センター事業等に積極的に参加してくれているので、子どもたちも喜んでいる。 学級だよりが読んでいてすごく楽しいし、学級の様子が手に取るようにわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校が楽しい」「友達となかよくしている」が大半を占め、安心。少数の否定の子ども声も忘れず。 社会に出てからも大切な挨拶を、校長先生や児童会が取り組んでくれているのがうれしい。 出前授業が学力のためだけでなく、いろいろな方からの話から生き方を学べる機会となっている。 多様な友達を特別視せず受け入れるこの学校の子どもたちはとても素敵だと思う。 校長室で話をしたり、遊んだり、気軽に行けるのが良いと思う。 ペア活動が優しい心を育てるとともに、子ども同士の集団意識を高めていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶことが面白くなる工夫が見られ、学力面での向上が見受けられる。 漢字博士試験は勉強の目標をもつ良い取組。 グループ学習は、互いの意見交換で相乗効果が見込まれるのだと感じた。 九九階段、電子掲示板のクイズ等楽しく学べる取組はたいへん良い。 放課後学習、夏休み補充学習がありがたい。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 学級懇談会の参加を増やす工夫が必要。 HPで修学旅行の速報を写真付きで伝えてくれたので、様子や雰囲気伝わりよかった。 「命の大切さを教えてもらっている」が高評価なのは、出前授業等の成果もあるようだ。 体験活動や出前授業が豊富で保護者も参加したいほどだ。 HPがよく更新され、学校の情報発信の役割を担っている一方、あることを知らない保護者もまだいるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者自身が挨拶ができていない現状を感じた。 親が感じているより子どもは挨拶ができていたことがアンケートからわかった。 保護者のアンケート評価が上がっているが、なお、子どもの捉え方との差があるのは、「子どもと学校の出来事を話す」の低さ所以だろうか。 アンケート「いじめをなくす…」の「わからない」の回答の多さも、家庭での会話不足からと考えられる。 親子のコミュニケーションが良好にとれているのだろうか反省する。 ペア活動が、異学年とも仲良くなるきっかけになっている。今後も継続してほしい。 児童会・校長先生の挨拶運動がすばらしい取組なのに、アンケートでなぜ下がっているのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校が楽しい」「友達と仲良く」のアンケート結果は1「とてもそう思う」に近いが、昨年度より少し下がり、注意が必要。 「毎日の勉強がわかる」という子が変わらず多いのがうれしい。 少数の勉強がわからない子に対する取組をお願いしたい。 「にじいろルーム」「るりいろルーム」での学習をぜひ存続してほしい。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> 今後も見守り隊の方々を含め、地域と触れ合うこと、社会を見ることはどんどん実施してほしい。 卒業生たちが集うことを楽しみにしている夏祭りなどのイベントは今後も続けてほしい。 集会は金曜日なので、できれば参観日は他の曜日にまんべんなくお願いしたい。 学級だよりには、エピソードをまじえて子どもたちの姿が伝わると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校任せにせず親が見本となり、言葉づかい、人への接し方など背中で教える教育を。 子どもと親のつながりを深めるイベントを催してみたい。 親が見本となり、見守り隊など世話になっている方に感謝を伝えていきたい。 音楽祭の参加は今後も継続してほしい。小学生でもここまでできるのかと改めて感心した。 豊かな心を育むためにも、放課後、ゲーム以外の遊びで友達と触れ合えるようにしたい。 親も、親として成長するよう心掛けたい。 みんなが気持ち良い挨拶ができる子になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 居残り学習の時間帯を見守り隊の方々にも情報を。 漢字博士検定のように計算分野でも励みになる取組があればうれしい。 長期休業ならではの、読書や自由研究の取組の活性化を。 順位をつけることを避ける時代だが、競争心を学習意欲向上につなげる方法はないだろうか。 土曜教室のような取組はどうでしょう。 休憩時も先生に質問に来るような関係性を今後もお願いしたい。 ALTの授業やパソコンを使った授業を増やしてほしい。

3 その他のご意見

・育友会備品も置いている資料室は子どもが入りしなないとはいえ、整理が必要。・トイレの臭いが気になる。・高学年は給食の量が足りているのだろうか。